

川村学園女子大学研究紀要 第7巻 第1号 109頁—119頁 1996年

老年期の性意識・性行動に関する調査研究

—韓国・台湾における調査およびドイツ・日本を含めた総括—¹

福屋 武人・鶴沼 秀行

A study on the sexual interest and behaviour of the aged in Republic of Korea, Republic of China and Germany

Taketo, FUKUYA., & Hideyuki, UNUMA.
Department of Psychology, Faculty of Liberal Arts,
Kawamura Gakuen Woman's University.

Abstract

One purpose of this study is to make clear the sexual interest and behaviour of the aged -over 60-, and the comparison among Asian and European countries is another. We conducted surveys in Republic of Korea, Republic of China and Germany using a questionnaire and got 103 (Korea), 106 (China) and 25 (Germany) answers, which were analysed as follows: (1) Sexual behaviour was maintained in the aged, especially in male, which was found among Asian countries and Germany. (2) Attitude and interests for sexual problem seemed to depend upon cultural background.

Key Words: the aged, sexual interests, sexual behaviour, cross-cultural studies.

1 問 題

1.1 問題の所在

わが国の老年期に関する心理学的研究は、人格・適応などの臨床分野、あるいは認知機能などの基礎分野の諸側面から資料が蓄積されつつある。しかし性的な行動・意識については、基本的な資料が未だ不十分であり、老年期の生活の質を高める上でも性行動との関連を議論する

¹本研究は、平成3, 4, 5年度ユニバーサル財団助成金の補助を受けた「老年期の性意識・性行動に関する調査研究（代表 福屋武人）」の一部として行われた。この研究を開始するにあたりご助言を賜りました川村学園女子大学前教授加藤正泰先生に深く感謝致します。

ことは困難であるといわれる(井上 1991)。先行のいくつかの研究(Bretschneider & McCoy 1988; Pfeiffer, Verwoerd & Davis 1972)では, 老年期の性交渉・性的欲求について男女差が認められること, などが報告されているが, 高齢者の生活全般のなかで性的な行動・意識がいかに他の問題と関わっているのか, については基礎的な資料が不足しているといえる。また, この点に関して特に日本における特殊性の有無についても明らかではない。わが国において老年期の性行動を含む生活全体について具体的な援助や施策を考える際, 老年期の性意識・性行動の特質を生活全体の中に位置づけるとともに, 文化的背景も含めた理解が必要と考えられる。

1.2 本研究の目的

本研究の目的は, 老年期の日常生活における性意識・性行動の実態と心理学的諸問題について, 比較文化的視点から検討を加えることである。本報告では, 東アジア文化圏の中から韓国と台湾を対象として取り上げ, 各地域における実態を明らかにするとともに, 先の福屋, 浅井, 鶴沼, 戸沢(1993)による第Ⅰ報(日本), 福屋(1995)における第Ⅱ報(ドイツ)の結果と比較しながら研究全体を総括し, その共通点と差異点についても考察する。なお, ドイツにおける調査結果の詳細については第Ⅱ報で報告することができなかったため, 本報告においてあわせて追加報告を行う。

2 方 法

2.1 調査対象者

韓国, 台湾およびドイツにおける調査対象者数を, 性・年齢別に Table 1 に示した。調査対象は 60 歳以上の男女とした。各国の調査総数は, 韓国 103 名(女 52, 男 51), 台湾 106 名(女 51, 男 55), ドイツ 25 名(女 10, 男 15)であった。なお, ドイツの調査のみ, 老人専門施設入

Table 1 各国における年齢・性別の調査対象者数

Age\Sex	韓国		台湾		ドイツ	
	F	M	F	M	F	M
60-69	33	29	27	31	3	3
70-79	12	22	22	21	3	7
80-89	0	0	2	3	3	3
90-	0	0	0	0	1	2
	52	51	51	55	10	15
Total	103		106		25	

F: Female, M: Male

居者であった。

フェイスシートに記入された生活形態(独居, 家族同居), 配偶者の有無の結果を国別に Table 2 に示した。

2.2 調査時期

韓国, 台湾, ドイツとも, 1993 年 7 月から 8 月にかけて実施された。

2.3 調査手続き

いずれも, 現地の研究スタッフの協力を得て, 原則として個別聞き取り調査を行った。

2.5 質問項目

第 I 報(福屋ほか 1993)において用いられた質問項目を各国語に翻訳して用いた。Table 3 に日本語版の質問項目を示した。なお, 翻訳の過程で, 配偶者以外の恋愛対象に関する質問につ

Table 2 調査対象者の生活形態および配偶者の有無

	生活形態		配 偶 者	
	独 居	家族同居	有	無
韓 国	16	87	56	47
台 湾	8	92	74	30
ドイツ	9	2	1	19

(人数)

Table 3-1 老年期の性意識・性行動についての質問項目と回答結果

	韓 国			台 湾			ドイツ	
	YES	?	NO	YES	?	NO	YES	NO
(1)生活・健康について								
1. 私は健康である	41	2	59	90	0	16	13	9
2. 現在、病院にかよっている	47	2	54	15	0	90	23	1
3. 配偶者は健康である	28	48	27	67	0	38	2	2
4. 私は、現在熱中しているものや趣味がある	69	1	33	87	2	15	18	7
5. 体を動かすことが好きである	87	4	12	102	0	4	17	8
11. 毎日の生活は充実している	62	5	36	90	2	14	14	9
16. やりかけた仕事は、一生懸命やりたい	96	4	3	101	0	5	17	5
17. 「寂しい」と感じることがある	70	2	31	49	2	52	10	14
20. 経済的に安定した生活がほしい	98	2	3	99	0	4	21	2
27. 新しいことや違ったことをやってみたい	51	7	45	57	3	43	12	11
40. 何もする気になれない	27	8	68	13	3	87	6	17
47. やり始めた仕事は、終わりまでやりとげたい	98	2	3	91	0	12	16	5
53. 自分の動機や感情を分析してみたい	66	11	25	58	3	40	8	13

Table 3-2

	韓 国			台 湾			ドイツ	
	YES	?	NO	YES	?	NO	YES	NO
(2)性活動・性的興味								
7. 色っぽい話をしたり、聞いたりするのが好きだ	45	7	50	14	5	86	3	21
9. 異性を好きになる感情は、若い頃と比べると穏やかである	80	2	21	67	6	32	17	6
18. 若い頃、性的欲求は強かった	60	9	34	40	6	57	7	13
19. 肉体的接触よりも、精神的な愛情やいたわりを望んでいる	90	7	5	85	1	16	16	2
22. 性的なことを想像する	30	1	71	22	8	73	12	11
25. 若い異性につきあいたい	16	5	82	29	1	73	5	17
26. 性的な夢を見ることがある	19	2	82	27	1	74	8	16
28. 異性と手を握ったり、腕を組んだりする	12	10	80	19	2	82	10	14
29. ふとしたきっかけで性欲がわく	13	3	87	50	0	52	5	16
37. 特定の異性と個人的につきあいたい	21	9	72	26	3	73	10	10
48. 私は、毎日同じ部屋で(配偶者などと)枕を並べて寝ている	57	6	39	48	0	54	3	13
55. 異性の肩をたたいたり、体にふれることがある	13	9	80	24	2	76	11	12
(3)結婚生活								
10. 結婚は恋愛結婚だった	17	2	84	49	2	54	20	0
14. 高齢者の結婚は人生を充実させる	33	17	53	32	16	56	6	10
21. 過去の結婚生活は充実していた	63	11	29	76	5	22	18	0
33. いまさら恋愛や結婚をするのはめんどうだ	62	17	24	51	5	47	17	5
34. 高齢者の交際や結婚についての周囲の人の理解がない	71	11	21	45	2	55	5	6
39. 若い頃、配偶者以外の人で結婚したかった人がいる	30	2	71	23	1	79	3	15
49. 私は年を取るにつれて性に対しての興味や関心が減少した	87	5	11	78	1	23	19	2
51. 子どもたちに反対されて、異性との交際や結婚をあきらめたことがある	1	19	83	32	5	65	3	16
54. 悩みを聞いてくれるのは夫、あるいは妻である	49	47	7	61	2	40	6	6
58. 現在の結婚生活は充実している	48	44	11	70	3	30	1	2
(4)異性								
12. 異性の交際相手がいたらきっと毎日が楽しい	26	14	62	58	6	41	15	6
15. 何でもはなせる異性の友達がいる	15	3	85	16	2	87	4	19
23. 特別な用がなくても会いたいと思う相手がいる	69	0	34	44	4	55	12	9
38. 高齢者の恋愛は性行為よりも心が通い合うことが大切だ	87	12	4	71	2	30	16	2

老年期の性意識・性行動に関する調査研究

Table 3-3

	韓 国			台 湾			ドイツ	
	YES	?	NO	YES	?	NO	YES	NO
41. 異性と話すことは楽しい	54	10	39	63	2	38	16	7
43. 私は現在でも性交渉がある	17	6	80	56	0	47	6	18
46. 青年と高齢者の恋愛はまったく異なる	84	11	8	70	4	28	18	4
50. 異性と仲よくしたい	30	9	64	70	1	32	13	8
57. 好ましい相手と出会ったときに、若い頃のように燃えると思う	52	11	40	49	3	50	12	10
60. 結婚をしたいと思う相手がいる	3	1	0	6	1	10	0	5
61. 交際相手にプレゼントを贈るか、贈られたことがある	3	0	1	10	0	7	4	1
62. 通い夫(妻)をしている	2	0	2	8	0	9	1	1
63. 交際相手とお互いの家族や友人の話をする	3	0	1	12	0	5	4	0
64. 交際相手をぶったことがある、またはぶたれたことがある	0	0	4	2	0	14	0	5
65. 婚約ではないが、結婚の約束をした異性がいる	0	1	3	4	1	12	1	4
67. 交際相手と一緒に食事をするのは楽しい	4	0	0	12	0	4	5	0
68. 交際相手と別れたいと思ったことがある	0	0	4	4	0	13	2	3
69. 交際相手と二人だけで散歩や旅行をする	2	0	2	11	0	6	4	1
70. 恋人を子どもたちに紹介したことがある	1	0	3	7	0	10	3	0
71. 交際相手と口げんかをしたことがある	3	0	1	5	0	12	5	0
72. 好きな人があるが財産や子どもたち、世間体などを考えるとその人に打ち明けることができない	1	0	3	4	0	13	0	3
73. 交際相手の家や部屋へ遊びに行く	1	0	3	9	0	8	3	0
74. 私は現在恋愛中である	3	0	1	7	1	9	2	0
75. 交際相手のことを考えただけで胸がドキドキする	2	1	1	12	0	5	2	1
(5)対人関係								
6. 子どもたちと一緒に暮らしたい	71	12	20	85	2	19	4	17
8. 何かことがあった場合、人はそれをどう感じているのか知りたい	67	5	30	60	12	32	7	15
31. 初対面の人と会うのが好きである	55	5	43	70	2	31	13	11
32. 誰かに頼りたいと思うときがある	49	4	50	73	2	28	13	9
35. 友達からちょっとした数々の行為を気持ちよく示してもらいたい	81	6	16	93	0	10	17	5
42. 病気になったとき、友達からいたわってもらいたい	54	4	45	85	3	15	13	11
44. 病気になったら、他人の世話になるのはいやだ	72	4	27	89	1	12	14	9
45. 男女問わず、皆でつきあいたい	64	3	36	96	1	6	9	14

Table 3-4

	韓 国			台 湾			ドイツ	
	YES	?	NO	YES	?	NO	YES	NO
66. 恋愛や結婚の悩みを誰に相談して良いのかわからない	2	0	2	6	0	11	2	2
(6)受容								
13. 若い頃に比べると、いろいろの面で衰えた	94	1	8	73	3	29	11	12
24. 自分の人生は上出来だ	57	14	31	91	2	10	19	4
30. 最近、自分が年を取ったと思う	82	2	19	60	2	41	16	7
38. 若い頃、年を取るのが恐ろしかった	87	12	4	71	2	30	16	2
52. 私は心身ともに老人である	55	5	43	47	2	54	5	14
56. 年を取るのはすばらしいことだ	13	6	84	62	1	40	19	3
(*)追加質問								
59. 配偶者以外に恋愛感情を持っている特定の異性がいる。	4	6	93	14	1	88	6	15

いて、誤解を防ぐために他の質問と区別して実施することが望ましいことが判明した。分類のための質問(No. 59)を追加した上で、配偶者以外の恋愛対象についての質問を一括して実施した(No. 60～75)。したがって、第Ⅰ報における質問項目番号と本報告の項目番号は一部で一致しないことになった。

質問項目は大別すると、(1)生活・健康の状態に関する項目、(2)性行動・性的興味に関する項目、(3)結婚生活のあり様に関する項目、(4)異性に対する感情・恋愛に関する項目、(5)家族などとの対人関係に関する項目、(6)老いに対する受容感に関する項目、であった。

Table. 3における先頭番号は質問の実施順番であった。

3 結 果

3.1 各質問項目に対する反応

Table 3に韓国、台湾およびドイツにおける各質問項目に対する反応を示した。ドイツに関しては、調査数が少ないことから、3件法の結果のうち質問に対する肯定と否定の反応数のみを示した。

3.1.1 生活、健康について

健康に関する項目1で、韓国・台湾間に差が認められた。また通院、配偶者の健康状態についても台湾における結果は、韓国と異なる傾向が認められた。他の健康・生活関連項目については両国間に著しい差異は認められなかったが、全体として韓国における結果は否定的な反応傾向が認められた。

3.1.2 性的活動、性的興味について

韓国、台湾に共通する結果として、老年期特有の恋愛観を示唆する結果であった(No. 9, 19)。身体的、行動的な性活動や性的興味については両国とも否定的な反応が多い傾向が認められた。

3.1.3 結婚生活について

台湾における結果が、韓国よりも恋愛を対する積極性を示唆し(No. 10, 51)、また現在の結婚生活に対する肯定的態度を示した(No. 58)。

3.1.4 異性について

全体に台湾の結果は、異性の存在に積極的・肯定的意味を見いだしている傾向があった(No. 12, 50)。さらに現在の性交渉について(No. 43)も、台湾では韓国よりも認める反応が多かった。

3.1.5 対人関係について

前項(異性)と同じように、全体として台湾の結果が韓国よりも対人関係に積極的反応傾向を示した。

3.1.6 老いの受容

ここでも台湾の結果が、韓国よりもより肯定的な受容を示した。

3.1.7 ドイツにおける結果および韓国・台湾との比較

生活・健康に関しては標本の特殊性もあって否定的な反応が認められた。

性的活動・興味に関しては、ドイツでは韓国・台湾よりも身体的接触に積極的な反応が認められた(No. 28, 55)が、性的な欲求・関心については特に異なる特徴を見いだすことはできなかった。過去の結婚生活については肯定的であったが、その他の結婚に関する項目では否定的な反応傾向が認められた。異性の存在については肯定的な反応が認められ、韓国・台湾と共通した。対人関係、特に家族についてはドイツでの対象者は同居を望んではいない傾向があった。また一般的な対人的興味は高いとはいえなかった(No. 8, 45)。老年期の受容に関しては、韓国・台湾の結果よりも受容しない反応がみられた。配偶者以外の恋愛対象のいる比率は、韓国・台湾に比べて高い傾向があった。

3.2 生活形態と性行動・性意識

年齢、性別、生活形態、配偶者の有無の各変数と、性交渉の有無(No. 43)、性的関心(No. 22)および配偶者以外の恋愛対象の有無(No. 59)の関連を検討した。

韓国の結果を整理した結果を Table 4、台湾の結果を Table 5 に示した。年齢による性交渉の減少を認めることができたが、台湾では60代において度数が高い傾向が認められた。また配偶者以外の恋愛対象については全体として度数は少ないが、台湾の60代の結果がやや特徴的であった。性的関心では逆に韓国の結果がやや高い傾向を示した。

男女の差異に関しては、韓国、台湾とも女よりも男において性交渉、性的関心、恋愛対象とも多い傾向があった。台湾の男性群で特に高い度数が認められた。

配偶者の有無は、性的関心、恋愛対象との関連は認められなかった。

3.3 生活・健康、性活動、結婚、異性、対人関係、老いの受容、各カテゴリー間の関係

(1)～(6)の各カテゴリーごとに質問項目の反応を得点化し、その合計を各調査対象者の当該

Table 4 韓国における年齢と性交渉・性的関心・配偶者以外の恋愛対象の有無

		性 交 渉		性的関心		恋愛対象	
		有	無	有	無	有	無
年 齢	60－69	12	48	14	46	3	55
	70－79	5	32	16	25	1	38
性 別	男	15	36	16	34	4	46
	女	2	44	14	37	0	47
配 偶 者	有	15	41	15	41	2	54
	無	23	9	15	30	2	39

Table 5 台湾における年齢と性交渉・性的関心・配偶者以外の恋愛対象の有無

		性 交 渉		性的関心		恋愛対象	
		有	無	有	無	有	無
年 齢	60－69	36	20	17	34	10	45
	70－79	19	23	5	34	4	38
	80－89	1	4	0	5	0	5
性 別	男	41	13	15	35	11	42
	女	15	34	7	38	3	46
配 偶 者	有	51	22	18	47	9	63
	無	4	25	4	25	5	24

カテゴリー得点とした。得点化の際、質問 60 から 75 までは度数が少なく欠損値となるため集計から除いた。各調査対象者ごとに算出されたカテゴリー得点をもとに、各カテゴリー間の相関係数(Pearson's r)を算出した(Table 6, 7)。

韓国の結果は、結婚生活の得点が他のカテゴリーと関連を持たないことを示した。これに対して生活・健康、性的活動・興味、異性との関わりは相互に関連していた。また老いの受容は生活・健康と性的活動・興味と関連を持っていた。

台湾における結果は、韓国と同じように結婚生活に関する得点が他のカテゴリーと関連を持たないことを示した。また生活・健康、性的活動・興味、異性、人間関係が関連していた。

Table 6 韓国における 6 カテゴリーの相関関係(Pearson's r)

	LIFE	SXAC	MARG	DEFS	HUMR	RECP
LIFE		0.49607**	0.21543	0.46169**	0.55961**	0.33608**
SXAC			0.22287	0.65844**	0.43014**	0.33438**
MARG				0.17084	0.05732	0.15958
DEFS					0.41244**	0.29939
HUMR						0.15242
RECP						

LIFE(生活・健康), SXAC(性活動), MARG(結婚), DEFS(異性),
HUMR(人間関係), RECP(老いの受容)
N = 70 * $p < .05$, ** $p < .01$

Table 7 韓国における 6 カテゴリーの相関関係(Pearson's r)

	LIFE	SXAC	MARG	DEFS	HUMR	RECP
LIFE		0.77206**	0.03421	0.47784*	0.82127**	0.45987**
SXAC			- 0.02804	0.70229**	0.75420**	0.32285
MARG				- 0.02070	- 0.20594	0.15682
DEFS					0.50093**	- 0.00441
HUMR						0.37649
RECP						

LIFE(生活・健康), SXAC(性活動), MARG(結婚), DEFS(異性),
HUMR(人間関係), RECP(老いの受容)
N = 28 * $p < .05$, ** $p < .01$

老いの受容は生活・健康，人間関係と関連していた。

4 考 察

4.1 韓国・台湾・ドイツおよび日本の共通点

老年期における性的活動・意識を中心に，まず韓国・台湾に共通する特徴を述べる。まず，性的行動，特に性交渉に関しては，韓国・台湾・ドイツに共通して，60代において20から50パーセントを越える範囲で維持されていることが推測できる。70代においても特に男性においては性的活動が持続していることが示された。また，性交渉は配偶者の有無と関連が深い。これらの行動と興味を維持しながらも，老年期における異性関係・恋愛関係は，より若い時期のものとは異なり，精神的なふれ合いが重要と考えられている。性的興味や活動は，他の人間関係や生活・健康全般などの日常的活動と深い関連があると考えられる。老年期における結婚観はこれこれらの日常的問題とは関連していない。精神的に老いを受容するかどうかは，生活・健康にに関して肯定的な感情を持つかどうか，と関連しているといえるが，異性との関係には関連していない。

ここで，第Ⅰ報で報告した日本における調査結果と比較する。日本における調査結果では，性的活動が生活の全体と関連を持っており，さらに6カテゴリーすべてが関連を持つことが示唆されていた。したがって，性的活動が日常生活全般と広く関わることは上述の各国と共通するといえる。

4.2 各国の差異点

台湾における結果は，韓国と比較して健康感がより強い老年期の意識と行動を表していると考えられる。この場合，性活動は70代においても持続し，特に男性において著しい。しかし，台湾において，精神的な老いの受容は必ずしも性的な活動と結び付きを持たない。これは，身体的な健康が，より広範囲の人間関係を可能にし，日常生活全般が老いの受容と関連しているためと考えることができる。

これに対して韓国の結果は，性的活動が老いの受容と関連しており，性的問題が日常の全体と関わっていると考えることができる。ただし，この点は老年期における健康の差異による断定することはできない。韓国と台湾の文化・社会的風土の違いによる影響について議論する余地が残されていると思われる。

ドイツにおける老いの受容に関する結果は，韓国や台湾とはやや異なる傾向を示しており，また結婚観においても差異が認められた。また異性との身体的接触についても一部に差異が認

められた。これらすべてを同列に論じることが困難であるが、老いの受容が西欧の「自我」の問題と関連すること、また結婚観が文化的風土の影響と不可分であり、身体的接触が対人コミュニケーションの文化的慣習と密接な関連を持つことは、留意されるべきであろう。

今回のわれわれの調査は、標本の大きさと各国間の調査対象者のマッチングに関して必ずしも満足すべき水準を満たしているとは言えない。しかし、これらの結果は、老年期の性活動が特に日常的な活動の広い領域に関わりを持つことを示唆しているといえよう。

引用文献

- Bretschneider, J. G., & McCoy, N. L. 1988 Sexual interest and behavior in healthy 80- to 102-year-olds. *Archives of Sexual Behavior*, 17(2), 109-129.
- 福屋武人, 浅井義弘, 鶴沼秀行, 戸沢純子 1993 老年期の性意識・性行動に関する調査研究Ⅰ. 川村学園女子大学研究紀要, 第4巻, 第2号, 19-37.
- 福屋武人, 鶴沼秀行 1995 老年期の性意識・性行動に関する調査研究Ⅱ — ドイツ国における調査・比較研究—. ユニバーサル財団調査研究報告書, Vol. 3 豊かな高齢社会の探究, 21-24.
- 井上勝也, 荒木乳根子, 大川一郎 1991 老年期のセクシャリティに関する研究 老年社会科学 13, 145-161.
- Pfeiffer, E., Verwoerd, A., & Davis, G. C. 1972 Sexual Behavior in the Middle Life. *American Journal of Psychiatry*, 128, 10, 1262-1267.